

応募情報（Web入力項目）作成イメージ

機関番号	研究種目番号	応募区分番号	小区分	整理番号
00000	00	0	00000	0000

令和2年度（2020年度）基盤研究（C）（一般）研究計画調書

XX年XX月XX日
1版

新規

研究種目	基盤研究(C)	応募区分	一般				
小区分	関連						
研究代表者 氏名	(フリガナ)	ダイヒョウ タロウ					
	(漢字等)	代表 太郎					
所属研究機関	北海道大学	【初期表示】 e-Radに登録している名称（部局名頭に「大学院」は不要） 異動し、正しい名称になっていない時は、e-Radの部局を 事務担当者に変更してもらってください					
部局	研究院						
職	助教						
研究課題名	研究期間内に何をどこまで達成するか（何のために、どのような手法により、何を達成するのか）わかるような研究課題名を、原則40字（半角文字200字）以内で記載してください						
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	令和2年度	¥, ¥¥	¥, ¥¥	¥, ¥¥	¥¥	¥¥	0
	令和3年度	¥, ¥¥	0	¥, ¥¥	¥¥	¥, ¥¥	¥¥
	令和4年度	¥, ¥¥	0	¥, ¥¥	¥¥	¥, ¥¥	¥¥
	令和5年度	¥, ¥¥	0	¥, ¥¥	¥, ¥¥	¥¥	¥¥
	令和6年度	毎年同じ内容を計上するのではなく、メリハリをつける等検討してください					
総計							
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する						
研究計画最終年度前年度応募	--						

1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領●頁参照）を参考にすること。

本欄には、本研究の目的と方法などについて、3頁以内で記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述すること。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。

(概要)

審査委員が(1)学術的背景、(2)研究目的、(3)研究方法を端的に把握できるように、研究目的・方法の概要を簡潔に記述してください

(本文)

(1) 本研究の学術的背景、学術的「問い」

研究対象についてどのようなことが明らかになっているか、何が未解決の問題として残されているかを示し、本研究課題の核心をなす問題提起を行ってください

【全ページ共通で確認】

応募する研究種目と提出する様式はあっているか

文字は11ポイント以上になっているか（この文字の大きさが11p）
（審査委員はPDFでも読むことができるが、拡大しなくても読める程度の大きさを心がけているか） 「研究業績」は除く

各項目のページ数、余白「上・下20mm、左・右25mm」等は守っているか

- ・様式改変（削除）は不可
- ・余白を変更すると文字等の欠落等のおそれあり

誤字・脱字、計算ミス（システム作成部分との整合性）はないか

モノクロ印刷時に見えにくい図になっていないか

- ・カラーで作成してもグレースケール（モノクロ）で印刷・PDF表示の上審査委員に配付されます

わかりやすい文章になっているか

- ・ストーリー性のある文章、小見出しや箇条書き、強調部分は太字や下線（多用しない）、意味のある図を品位よく使う（図と文章は同ページに）、「意図的な（小さな）空白」を活用する（行間は適度に、大きな空白は避ける）
- ・専門外の審査委員にもわかるように、外国語・略語・専門用語をできる限り少なくしているか
- ・最初の一文目は「トピック・センテンス（主題文）」を意識しているか
- ・一文は40字以内を心がけているか
（2つ以上の内容が書かれていれば分けることはできないか）

最低限各項目最終頁の半分くらいまでは記載し、それでも余白が多く見えるのであれば、図・表等（やその説明）を用いて説明を加えるなど、更に内容を理解できるよう、記載内容を検討すること

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

（2）本研究の目的および学術的独自性と創造性

（1）で提起した学術的問題の解決につながるような、本研究課題の目的を記載してください

他の研究プロジェクトとの違い等、研究の学術的な特色や強みを示してください

また、研究代表者が中心となって、独自の観点から主体的に行う研究であることがわかるように記載してください

判断するのは審査委員なので、自分で強調しないよう注意

×「・・・だから独自性がある」「本研究は・・・の点で独創性が高い」

（3）本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか

（2）に記載した目的を達成するために、どのような方法を検討し、どのような計画（期間）で実施する予定か、わかるように記載してください

【記載内容の例】

- ・研究目的を項目ごとに整理し、各項目における研究内容・到達目標を記載する
多い場合は、工程表等にまとめた方がわかりやすい
- ・年度ごとの研究計画を記載する
各年度で要求している研究経費と対応するように記載した方がわかりやすい
- ・研究代表者・研究分担者・研究協力者の役割分担が適切であることがわかるように記載する
組織が複雑・大人数な場合は、研究組織を図表にまとめた方がわかりやすい
- ・研究計画が計画通り進まない場合の対応も記載する

研究手法については、可能な限り具体的に記載してください

予想される結果に加え、より広い学術、科学技術、社会への応用可能性のような波及効果等、期待できることについても記載してください

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

最低限各項目最終頁の半分くらいまでは記載し、それでも余白が多く見えるのであれば、図・表等（やその説明）を用いて丁寧な説明を加えるなど、更に内容を理解できるよう、記載内容を検討すること

2 本研究の着想に至った経緯など

本欄には、(1)本研究の着想に至った経緯と準備状況、(2)関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、について1頁以内で記述すること。

(1) 本研究の着想に至った経緯・準備状況

1(1)の他、下記(2)・次項(1)等を踏まえて、本研究の着想に至った学術的経緯がわかるようにまとめてください
予備調査等の準備状況を記載し、準備が整っていることを説明してください

(2) 関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ

記載内容について、参考文献があれば、適宜引用し、出典を記載してください

審査区分内に共通認識がある場合は簡素な説明でよいが、審査区分内に当該内容の専門外と思われる研究者がいると想定される場合は、その研究者にもわかるように記載するあまり多用しない(適宜引用する)

国内外における研究動向において、本研究課題の独創性がわかるように、本研究の学術的意義を記載してください

3 応募者の研究遂行能力及び研究環境

本欄には応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について2頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

(1) これまでの研究活動

前項(1)や本項(2)とあわせて、実行可能性に関する説明を補強するように、これまでの研究履歴（どのような研究を行ってきたのか、研究内容と論文・受賞歴等特筆すべき研究業績等）を記載してください

成果に繋がった例だけでなく、成果に繋がらなかったものの新しい問題を発掘できたようなことを記載しても構いません

【3 応募者の研究遂行能力及び研究環境（つづき）】

論文等の研究業績について、本欄は研究者の全業績を記載する欄ではないので、研究代表者・研究分担者の研究遂行能力を十分説明できる業績を選定してください

審査委員は、研究代表者の研究業績をresearchmapやKAKENから参照することができますが、researchmapから参照するためには、researchmapに「科研費研究者番号」を登録する必要があります

国の競争的資金制度への応募等において、researchmapの掲載情報利用が、今後も進んでいくため、researchmapへの研究業績登録をお願いします

(2) 研究環境

現在の研究環境（施設・設備・資料等）の状況を記載し、環境が整備されていること（あるいはどの点が不足して、本研究実施のためにどう整備していく予定なのか等）を説明してください

研究期間中に研究環境が大きく変わる場合の対応等についても記載してください

4 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領●頁参照）

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。

【記載例1】

本研究計画は、を扱う研究のため、人権保護の観点で必要な措置や、法令等に基づく必要な手続は生じないが、研究遂行上、法令上必要な手続が生じた際は、適切に対応した上で研究を実施する。

【記載例2】

本研究は、を多面的に検討するため、を取り扱った研究を計画している。そのため、実施に際しては「法」及び「のガイドライン」に従い、本学委員会への事前審査・承認を経た上で行う。

また、配慮が必要な個人情報の収集に際しては、原則本人の同意を得た上でを行い、収集した個人情報は厳重に管理し、当該研究以外には使用せず、研究成果を公表する際は、特定の個人が識別されないよう匿名化処理を行う。

該当しない場合は、「本研究はな研究なので該当しない」旨を記載してください（頁削除等、様式改変不可）
当該枠は上記欄に記載されている人権保護や法令等に基づく手続が必要とされる研究課題について、研究機関内外の倫理委員会等の承認を得るなど、必要な手続・対策を行っているか記載する欄です。
なお、記載内容に不十分な点があったと審査委員が判断した場合、その旨を採択後に事務局を通じて指摘される場合があります。

5 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項（該当者は必ず記述すること（公募要領●頁参照））

本欄には、本研究の研究代表者が行っている、令和2（2020）年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を記述すること。

該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			平成 年 度～令和 2 年度

当初研究計画及び研究成果

前年度応募する理由

研究経費とその必要性

年度	設備備品費の明細					消耗品費の明細	
	品名・仕様	設置機関	数量	単価	金額	事項	金額

本学に設置する場合は「北海道大学」と記載
部局名等は不要

「ノートPC」等の品名だけでなく、
製造者名や型番等の仕様も記載してください

当該年度ごとに必要なものを記載してください
研究計画と購入内容が整合するように記載してください

入力終了後、「再計算」ボタンをクリックしてください
年度をバラバラに入力しても、PDF出力時に年度順にソートされる予定です。
金額は1,000円単位で入力してください
順番の入れ替え機能はありません（削除や下欄追加は可能）

設備備品費、消耗品費の必要性

計上した経費の必要性について、それぞれ説明するとともに、応募額が適切であることを示してください
「計上した経費は妥当である」と記載するよりは、根拠や内訳・理由を記載し、審査委員が妥当性ありと
判断しやすくするように記載を検討してください

北大で支出する場合の費目に計上してください
(例：論文別刷費は印刷製本費なので「その他」、単価10万円未満の物品は「消耗品費」、
業者に委託する分析費用は「その他」、北大の図書として登録する書物は「設備備品費」)

年度	国内旅費の明細		外国旅費の明細		人件費・謝金の明細		その他の明細	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額

目的と行き先等を記載してください
 【例】
 情報収集（ 学会 ） 日間・ 人
 成果発表（ 大会 ） 日間・ 人
 調査（札幌- ） 日間・ 人・ 回
 交通費・宿泊費・日当はまとめて1つの事項として記載

旅費、人件費・謝金、その他の必要性

計上した経費の必要性について、各費目・事項それぞれ説明するとともに、応募額が適切であることを示してください
 「計上した経費は妥当である」と記載するよりは、根拠や内訳・理由を記載し、審査委員が妥当性ありと判断しやすくするように記載を検討してください

研究費の応募・受入等の状況

基盤研究(C)(一般)9-()

(1) 応募中の研究費

研究者氏名					
資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割	令和2年度の研究経費(期間全体の額)	エフォ-ト(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額)
【本応募研究課題】基盤研究(C)(一般)(R2-R4)	の の (代表 太郎)	代表	¥¥¥ (¥,¥¥¥)	30	本応募研究課題 (総額: ¥,¥¥¥千円)
<p>科学研究費助成事業以外の研究資金は「その他」を選択し、具体的な名称及び配分機関等名を記載してください</p> <p>金額は1,000円単位で入力してください</p> <p>(エフォ-ト) 各研究者の年間の全仕事時間に対する本研究課題への時間の配分率 教育・管理業務・診療等も含めた全仕事時間(100%)</p>					
新学術領域研究(研究領域提案型)(公募研究)(R2-R3)	の の (代表 太郎)	代表	¥¥¥ (¥,¥¥¥)	10に関する研究であり、本応募研究課題のテーマである を目指すものではない (総額: 5,000千円)
(千円)					
基盤研究(C)(一般)(R2-R5)	の の (分担 二郎)	分担	¥¥¥ (¥,¥¥¥)	5	研究内容の相違点..... (総額: -千円)
<p>この欄には本人が使用する(予定)額だけを記入してください</p> <p>【研究代表者になっている課題】 他の研究者へ配分する「分担金を除いた」額</p> <p>【研究分担者になっている課題】 代表者から「配分される分担金」の額 上段に令和2年度の額、下段に()書きで期間全体の額を記入してください</p>					
(千円)					
(千円)					

(2) 受入予定の研究費

基盤研究(C)(一般)9-()

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割	令和2年度の研究経費(期間全体の額)	エフォ-ト(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額)
基盤研究(B) (特設分野研究) (H29-R3)	の (分担 三郎)	分担	¥¥¥ (¥,¥¥¥)	15	研究内容の相違点・ (総額:-千円)
(千円)					
研究事業 (H29-R2) (機構)	の (分担 四郎)	分担	¥¥¥ (¥,¥¥¥)	10	研究内容の相違点・ (総額:-千円)
(千円)					
(千円)					
<p>本欄は研究業績を記載する欄ではなく、研究費を不合理に重複していたり、過度に受給していないか審査される欄ですので、相違点・各研究費に加えて本研究課題に応募する理由がわかるように記載してください(審査委員全員に「×」評価を付されると、学術的価値の評価に関わらず不採択になります)</p> <p>応募時点で令和2年度の正確な配分額が分からない場合も、おおよその金額を記入してください</p> <p>日本学術振興会特別研究員(SPD、PD、RPD)であって令和2年度に特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、記載してください</p> <p>なお、毎月支給される研究奨励金(研究遂行経費)は、記載しないでください</p>					
<p>研究費の配分を受けていないが、研究計画には参画している研究課題(厚生労働科学研究費の研究分担者など)については、「(3)その他の活動」ではなく、「(1)または(2)」に記載してください</p> <p>なお、科研費の研究協力者であれば、「その他の活動」に含めてください</p> <p>(1)+(2)の合計が100%を超えるとエラー表示されます</p>					
(3) その他の活動					
合 計				100 (%)	

科研費の研究代表者以外については、研究期間全体の総額は不要です

学内で配分される公募資金等は、研究事業名(特に名称のない場合は、当該資金の内容がわかるような名称)を記入してください